

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第77期第2四半期連結累計期間(2020年11月21日から2021年5月20日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

●当第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間においては、ワクチン接種が進んだ米国や感染拡大の抑制に成功した中国では景気回復が加速した一方、東南アジアや日本においては外出行動や経済活動が制限されるなど、回復力の弱い状態が続きました。

このような経営環境の中で、当社グループは2020年11月21日より、新しい日常における新たな中期2か年計画『ADAPT PhaseII』をスタートし、象印ブランドを現状の家庭用品ブランドから「食」と「暮らし」のソリューションブランドへ進化させるための取り組みを推進いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内ではホットプレートなどの巣ごもり関連商品や空気清浄機などの衛生関連商品の売上が増加したことに加えて、海外でも北米市場や中国市場で好調に推移したことにより、42,504百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

利益については、売上高の増加や原価の低減、販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は4,841百万円(前年同期比55.0%増)となりました。経常利益は4,787百万円(同54.0%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,075百万円(同51.3%増)となりました。

●今後の取り組みについて

当期より新たな中期2か年計画『ADAPT PhaseII』をスタートさせ、事業領域の拡大と経営基盤の強化に取り組んでおります。具体的には、「おいしいごはん」を軸とした新規事業として、JR新大阪駅にお弁当専門店『象印銀白弁当』を出店いたしました。また、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格である「ISMS(ISO27001)」の認証を取得するなど、経営基盤の強化にも取り組みました。

今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向が引き続き不透明ではありますが、主力の炊飯ジャーを中心に新製品を投入し、売上の維持拡大を図ります。業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績の状況を踏まえつつ、原材料の高騰や為替変動による調達コストの上昇が今後想定されることを勘案し、通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

厳しい経営環境ではございますが、株主の皆様におかれましては、今後ともますますあたたかいご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■2021年11月期業績予想(為替レート1ドル=110円)

	前回予想	今回予想
売上高	760億円	775億円(前回予想比 2.0%増)
営業利益	57億円	67億円(前回予想比 17.5%増)
経常利益	58億円	67億円(前回予想比 15.5%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	40億円	44億円(前回予想比 10.0%増)

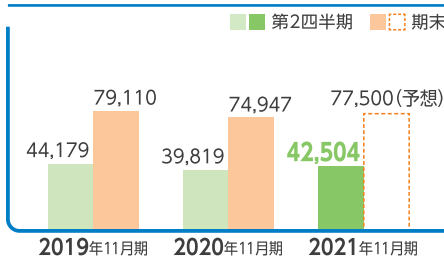
代表取締役
社長執行役員

市川 典男

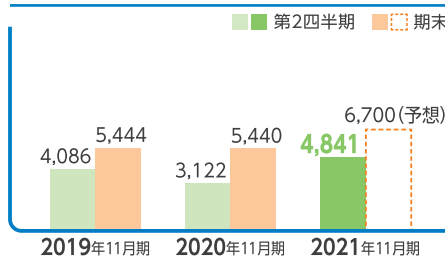


連結財務ハイライト

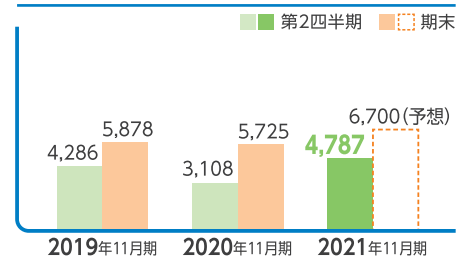
売上高 (単位:百万円)



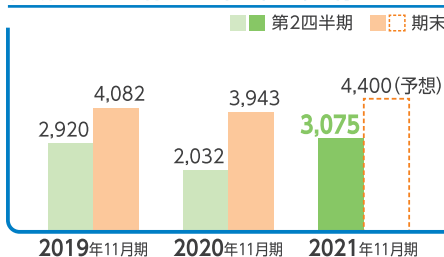
営業利益 (単位:百万円)



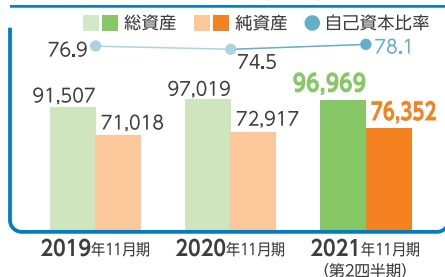
経常利益 (単位:百万円)



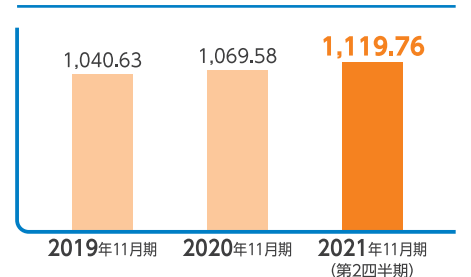
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



総資産・純資産/自己資本比率 (単位:百万円・%)



BPS[1株当たり純資産] (単位:円)

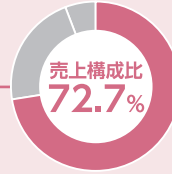


製品区分別業績の概況

調理家電製品

売上高 **309億3百万円**

前期比 **8.5%増** ↑



主な製品



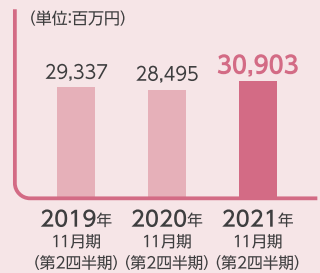
圧力IH炊飯ジャー
(NW-LB型)



オーブントースター
(ET-GN型)

巣ごもり需要の拡大や海外での販売好調で売上が増加

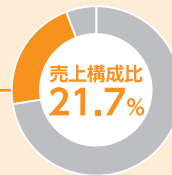
- [国内]** ●炊飯ジャーは、普及価格帯が前年実績を下回ったものの、最高級モデルの圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』シリーズが好調に推移し、全体としてはほぼ前年並みの売上を確保しました。
- 電気ポットは市場の縮小傾向もあり低調に推移しました。
- 電気調理器具では、巣ごもり消費で需要の高いホットプレートやオーブントースターなどの販売が伸長し、前年実績を大幅に上回りました。
- [海外]** ●炊飯ジャーや電気ポット、電気調理器具が北米、中国、東南アジア市場で好調に推移しました。
- 特に北米市場では巣ごもり消費による需要の拡大によって、調理家電製品の販売が大幅に増加しました。



リビング製品

売上高 **92億31百万円**

前期比 **2.3%増** ↑



主な製品



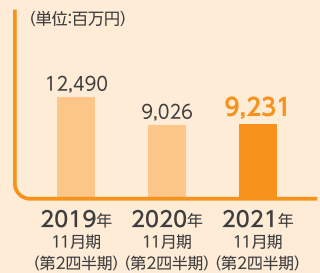
ステンレスマグ
(SM-WA型)



ステンレスクールボトル
(SD-JK型)

ステンレスボトルが海外では低調に推移したものの、国内では売上が回復

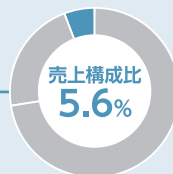
- [国内]** ●“せん”と“パッキン”がひとつになった「シームレスせん」を採用したステンレスマグが好調に推移するなど、ステンレスボトルが販売を牽引し、減少の大きかった前年実績を大幅に上回りました。
- [海外]** ●主力の中国市場では、ステンレスボトルは回復基調にあるものの、北米、東南アジア市場で低調に推移したため、全体としては前年実績を下回りました。



生活家電・その他製品

売上高 **23億70百万円**

前期比 **3.1%増** ↑



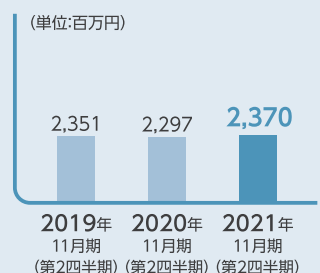
主な製品



空気清浄機
(PU-HC型)

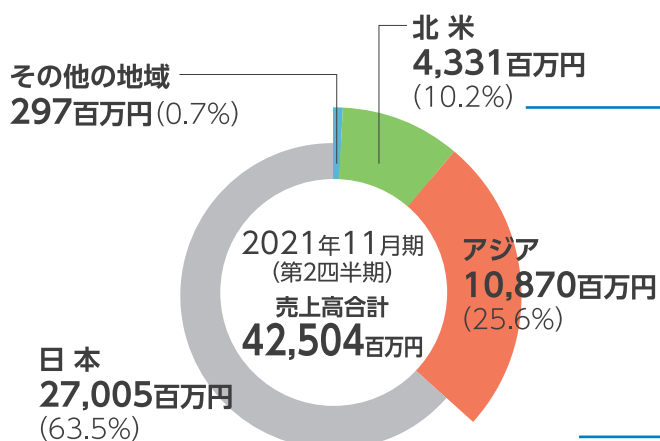
衛生志向の高まりにより売上が増加

- [国内]** ●衛生志向の高まりにより、ふとん乾燥機や空気清浄機、食器乾燥器が好調に推移しました。
- その他製品は、売上が減少しました。

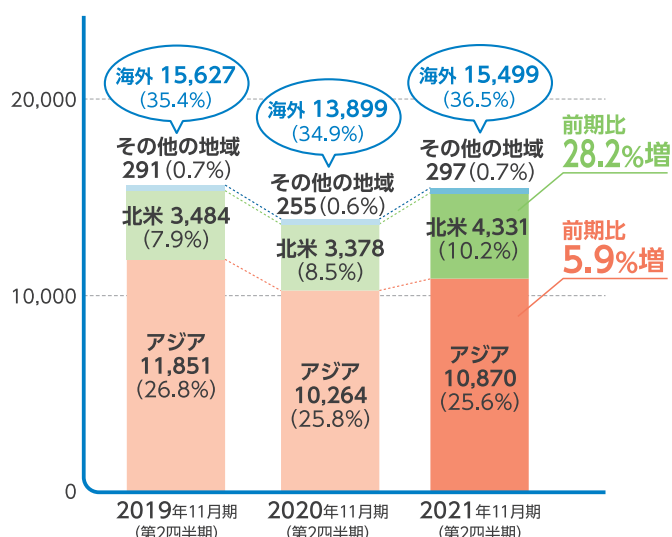


地域別業績の概況

■2021年11月期(第2四半期) 地域別売上高構成比



■海外売上高 / 海外売上高比率の推移 (単位:百万円)



トピックス



お弁当専門店「象印銀白弁当」オープン

当社は2021年3月、JR新大阪駅に常設のごはんレストラン「象印食堂」に続く第2弾のプロジェクトとして、ごはんが主役のお弁当専門店「象印銀白弁当」を出店いたしました。この「象印銀白弁当」では、当社の最高級炊飯ジャー『炎舞炊き』で炊き上げたごはん、ごはんに合うおかずを詰め込んだお弁当を中心に販売しています。

ライフスタイルの変化により、日本人のごはん消費量は年々減少しています。そのような中で、炊飯ジャーの開発を続けてきた当社は、「おいしいごはんをもっと手軽に食べていただき、日本のごはん文化を守る」との想いのもと、多くの人が利用する新大阪駅に出店を決めたものです。オープン当日は準備していたお弁当の全商品が完売するほど、多くのお客様にご来店いただきました。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



ISMS (ISO27001) を認証取得しました

2021年1月、当社および当社グループ会社(象印フレスコ株式会社、象印ユーザーサービス株式会社)は、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格である「ISMS (ISO27001)」の認証を取得いたしました。

当社は、2019年12月に発生しました当社グループ会社が運営する部品販売サイトへの不正アクセスによる個人情報流出事件を厳粛に受け止め、システム面でのセキュリティ強化を行うとともに、お客様の大切な情報を取り扱う当社の部署およびグループ会社で運用面でのセキュリティ体制の強化にも取り組んでまいりました。

今回の認証取得に満足することなく、今後も情報セキュリティの維持・向上に努めてまいります。

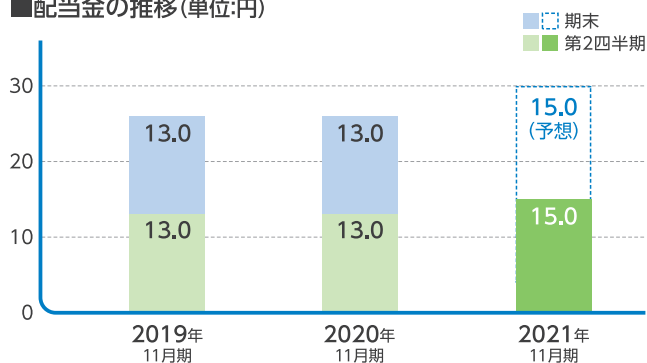
配当について

当社グループは、株主に対する利益還元を重要政策の1つであると考えており、企業基盤の強化ならびに将来の事業展開のための内部留保や収益見通しなどを総合的に勘案し、安定的な成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、当期の中間配当は1株当たり15.0円を実施いたしました。

また期末配当については、1株当たり15.0円を予定し、年間配当額は1株当たり30.0円を予定しております。

■配当金の推移(単位:円)



株主優待制度のご案内

◆株主優待内容

当社商品の優待価格および優待特別割引による販売

※優待特別割引については、右の表をご確認ください。

◆株主優待対象基準

11月20日現在の当社株主名簿に記載または記録された単元株(100株)以上の株式を保有されている株主様

◆株主優待のご利用方法

年1回、毎年2月に対象株主様へ優待販売のご案内および申込はがきを送付いたします。優待販売のご案内をご覧いただき、ご希望の商品をお申込ください。

■優待特別割引

ご所有株式数	優待特別割引額
100株以上 500株未満	ご購入金額合計より 1,000円割引
500株以上 1,000株未満	ご購入金額合計より 2,000円割引
1,000株以上	ご購入金額合計より 4,000円割引

株主メモ

事業年度	毎年11月21日から翌年11月20日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	■定時株主総会 11月20日 ■剰余金の配当 期末 11月20日 中間 5月20日
1単元の株式数	100株
公告方法	当社の公告方法は、電子公告とする。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.zojirushi.co.jp/corp/ir/koukoku.html
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社等までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部までお問い合わせください。
TEL 0120-094-777(通話料無料)

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 TEL06-6356-2311

〈ホームページのご案内〉 <https://www.zojirushi.co.jp>
企業情報や製品情報など象印マホービンの最新情報をご覧ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

証券コード:7965